

40代 男性 入院 H27.7.13～H27.11.24 幼少児から30年以上ステロイドを使用した全身の苔癬化皮膚炎も見事に改善した。
国内でもチャンピオンクラスの重症アトピー性皮膚炎ですが、バチルス入浴ケアによって見事にコントロールされています。

幼少児期より湿疹があったが、たまにステロイド外用を塗布する程度だった。また、卵アレルギーで蕁麻疹が生じる事があった。学童期から四肢屈曲部にアトピー性皮膚炎が生じるようになり、中学から体重も増加してアトピー性皮膚炎は全身に拡大。皮膚科にて顔にステロイド外用のリンデロン、アルメタ、体部にフルメタを使用してコントロールしていた。20歳頃、体重を95kgから20kg減量した際には改善したが、長続きはせず、2年ほどで悪化。24歳から38歳まで低ステロイド外用の代替医療を、入院を交えながら行っていたが、次第に効果は低下し、塗布しても重度のアトピー性皮膚炎が長年持続していた。2年前から脱ステロイド治療行い、週2回ヒスタグロビン注射をうけ、顔にのみ弱いステロイドを使用していたが、重度のアトピー性皮膚炎はその後も改善することなく持続していた。当院ホームページをインターネットで知り外来受診。IgE定量25728（正常140以下）、TARC26477（正常450以下）、好酸球26%（正常7%以下）全身の苔癬化にビラン、浸潤を伴った最重症のアトピー性皮膚炎を認め、入院治療を行った。入院当初は皮膚からの滲出液が多量にあり、強いそう痒を伴った炎症が1ヶ月半程続いたが、2ヶ月で急速に改善し体重も13kg減少した。当院では発酵玄米を中心とした日本食を行っており食事からも体質改善を図っている。幼少児から30年以上ステロイドを使用し、様々な代替療法でも全く効果がなかった最重症アトピー性皮膚炎が、見事に改善している。これだけ重症だと30年の病歴の蓄積があり、4ヶ月は必要だったがドラッグフリーを達成できた。

	基準値	2015/7/13	2015/8/12	2015/9/12	2015/10/10	2015/11/5
TARC	450 以下	19775	20607	4733	2930	1489
LDH	120～245	425	372	367	217	161
IgE	170 以下	28768	34004	25004	29230	22165
好酸球	7%以下	20%	28%	10%	9.8%	14.2%
POEM(自覚症)	最重症者 20～28	28	25	23	24	19

2015.7



2015.11



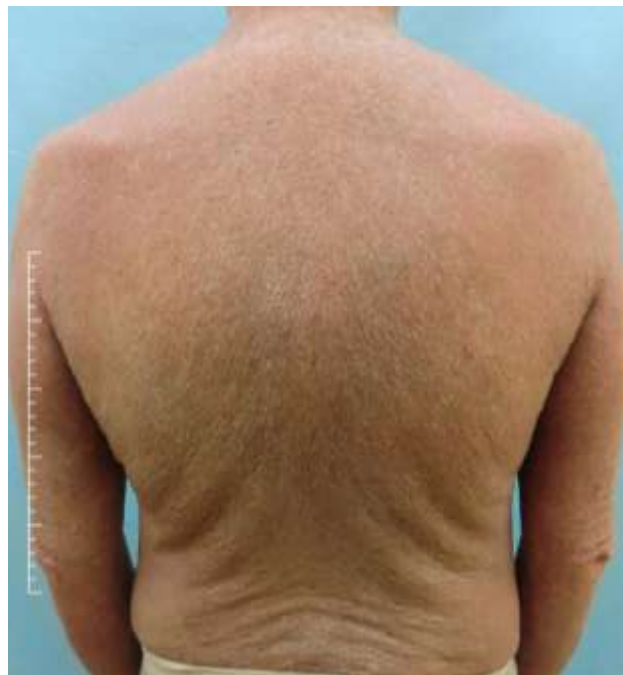
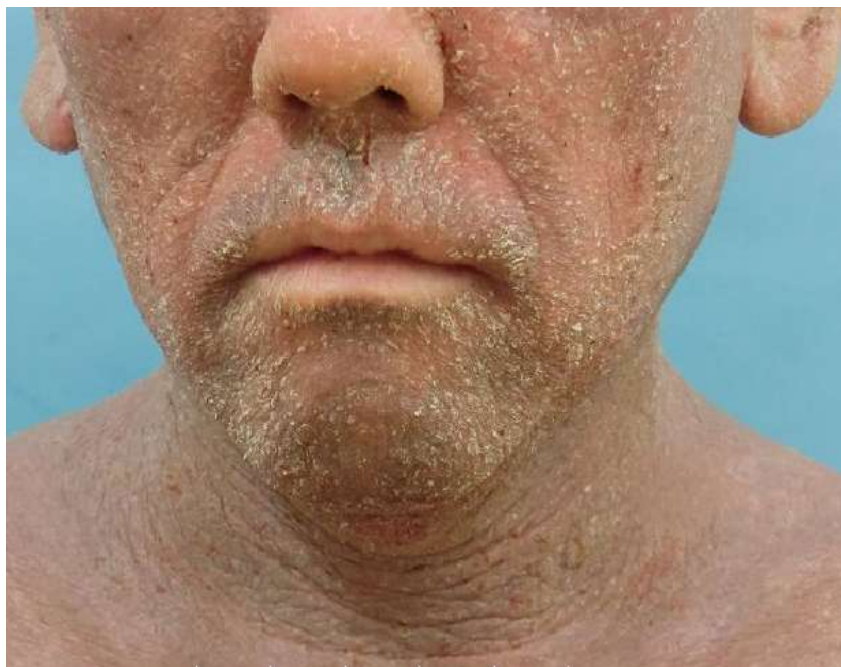
2015.7



2015.11



2015.7



2015.11

